

平成27年度

全国地域づくり人財塾

一課題解決編

(フィールドワーク型) 一

総務省では、「全国地域づくり人財塾」等の受講を経て地域づくりの実践を始めた方等を対象に、課題解決の糸口発見や更なる活動へのステップアップの場とするために、本講座を開催いたします。

地域づくり活動を見つめなおしたい方、「地域づくり人」として更なる実践を考えている方、全国の有志とのネットワークを構築したい方、是非ご参加ください。

熱い志を持つ全国からの参加者と熱く議論してみませんか。

日程：平成27年11月5日(木)～7日(土)〔2泊3日〕

テーマ：地域資源の持ち寄りによるプラットフォームづくり

講師：飯盛 義徳 慶應義塾大学教授(総務省「人材力活性化研究会」座長)

会場：伊勢シティホテル(三重県伊勢市)

対象：地方公共団体職員又は地域づくりに取り組むNPO関係者等の皆様

※ 原則として、平成23～24年度「地域づくり人育成講座」、平成25～27年度「全国地域づくり人財塾」及び平成24年度「『域学連携』地域づくり人育成支援事業」、平成25年度「地域づくり人育成支援事業」のいずれかの講座を受講済みの方を対象としています。

※ 3日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできません。事前課題として、地域の状況や課題、研修で学びたいことなどについて発表していただくプレゼン資料の作成(発表時間10分程度の分量、Microsoft社のPower Pointで作成)が必要となります。

定員：15人(受付は先着順となります。お申込み受付後、受講案内、事前課題の詳細をお送りします。)

宿泊：伊勢シティホテル ※外泊不可。

経費：16,000円

※ 研修、宿泊、食事(2日目朝食・昼食、3日目：朝食が含まれます。夕食は各自負担。)等に係る費用が含まれております。

申込方法：申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールにてお申し込みください。

※申込期限：平成27年10月30日(金)まで(その他別添申込要領をご参照ください。)

お問合せ

総務省 地域力創造グループ 人材力活性化・連携交流室

Tel.03-5253-5392

お申込

(株)価値総合研究所 全国地域づくり人財塾係

〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 Tel : 03-5205-7901 Fax : 03-5205-7922

Mail : zinzai@vmi.co.jp

プログラム構成

1

【事前課題】現在の地域活動の状況・課題の整理

参加者が各地域で実践している地域づくり活動の状況、抱えている課題及び本研修で学びたいことについて事前にまとめていただき、当日発表していただきます。

2

【フィールドワーク】地域の取組の視察

実際に地域に赴き、地域の取組を関係者から伺います。

【フィールドワーク①農業法人せいわの里まめや】

「農村文化を次の世代に伝えたい」という想いのもと平成15年に設立。レストランや体験教室、加工品の販売を通じて、農業の活性化につなげ、農村の魅力を広く伝える活動を行っている。「せいわの里」を包むすべてのものを大切な資源として活かした、次の世代につなげるための活動のポイントを学びます。

【フィールドワーク②「Sの交流フェア」】

高校生による「食」や「職」(「S」)をテーマとする取組の発表や、開発した商品の紹介・販売など、お互いを評価しながら進化していくことを目的に行うセレクション。高校生及び高等学校と連携する地域ビジネス創出プロジェクト(通称SBP)の解説を受けながら、活動のポイントを学びます。

3

【グループワーク】課題の共有と解決糸口の発見

事前課題を、さまざまな地域から集う参加者間で共有し、代表的な課題をケーススタディとして取り上げ、多面的な視点から、その解決策をグループワーク形式(1グループ5名程度)で討議します。参加者間で議論を深め、課題解決の糸口を探します。

4

【成果発表】課題解決策と実行計画案の発表

各地域の課題について、グループワークで議論した解決策および地域での実行計画案を全体発表します。

※プログラムは都合により変更となる可能性がございます。

講師の紹介



■講師 慶應義塾大学総合政策学部 教授 飯盛 義徳 氏

地域づくりの第一人者である慶應義塾大学飯盛教授は、実践を通じて地域の元気の具体的方策を探究されています。その豊富なご経験と、先進事例の成功要因に基づいて、「リーダーの役割を果たす人材」のほか、「リーダーを支えるための人材」など地域づくりにおける人材力の観点から、参加者の皆さんが実践されている、地域づくり活動の課題についてアドバイスをいただきます。

■ご略歴

佐賀県生まれ。慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程修了。博士(経営学)。1987年、松下電器産業株式会社入社。富士通株式会社出向などを経て、1992年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程入学。1994年、同校修了後、飯盛教材株式会社入社。1999年、アントレプレナー育成スクールNPO法人鳳雛塾を設立。2002年、慶應義塾大学大学院経営管理研究科博士課程入学。2005年、慶應義塾大学環境情報学部専任講師就任。2008年、慶應義塾大学総合政策学部准教授。2014年から現職。「域学連携」を各地で推進。総務省人材力活性化研究会座長、総務省過疎問題懇談会委員、総務省地域づくり懇談会委員などを務める。

会場までの交通

伊勢シティホテル

三重県伊勢市吹上1-11-31

電話:0596-28-2111

<http://www.greens.co.jp/isech/>

▼鉄道

・JR・近鉄「伊勢市駅(近鉄改札口)」より徒歩3分。



■プログラム詳細

■11月5日(木)【事前課題発表】

12:30-13:00 受付

13:00-13:15 開講・オリエンテーション

13:15-18:30 【事前課題の発表・講評等】

①事前課題のプレゼンテーション

②講評

③グループワークのグループ分け及びテーマ設定



■11月6日(金)【フィールドワーク・グループワーク】

9:00-12:00 【フィールドワーク①】

・農業法人「せいわの里まめや」を現地視察

13:00-15:00 【フィールドワーク②】

・「Sの交流フェア」を現地視察

16:00-19:00 【グループワーク①】

フィールドワークを踏まえたグループワークを実施

【交流会】



■11月7日(土)【グループワーク・成果発表】

8:30-10:30 【グループワーク②】

課題解決策を検討し、地域に戻ってからの実行計画案を作成。

10:30-12:00 【発表・講評】

グループワークで作成した計画案の発表と講評



特別講師の紹介

■講師 日本マイクロソフト株式会社 会長室業務執行役員シチズンシップリード 牧野 益巳 氏
総務省人材力活性化研究会構成員。日本マイクロソフトが行う、自治体、大学、NPOなどと連携して、地域のICTリーダーを育成しながら取り組む「地域活性化協働プログラム」のご経験を踏まえ、参加者の皆さんが実践されている、地域づくり活動の課題についてアドバイスをいただきます。

■現地講師 農業法人「せいわの里まめや」 北川 静子 氏

せいわの里の設立の中心人物で、地域のメンバーとともに資源の持ち寄りによる農村料理レストラン(バイキング)を運営。野菜栽培、味噌や豆腐などの約50商品の加工、販売のほか、農村体験教室や学校給食への味噌・豆腐の提供も行う。農村の食文化の継承や、ボランティア活動から法人設立までに至った原動力とは何かについて解説していただきます。

■現地講師 皇學館大学現代日本社会学部特命教授 まちの宝創造アドバイザー 岸川 政之 氏

高校生レストラン「まごの店」やその先輩が運営する惣菜とお弁当の店(株)相可フードネット「せんばいの店」など、コミュニティビジネスの手法を取り入れた地域おこしに取り組む。「Sの交流フェア」において、地域ビジネス創出プロジェクト(通称SBP)について解説していただきます。